

### 基本目標3 子どもを育てたいという希望をかなえる

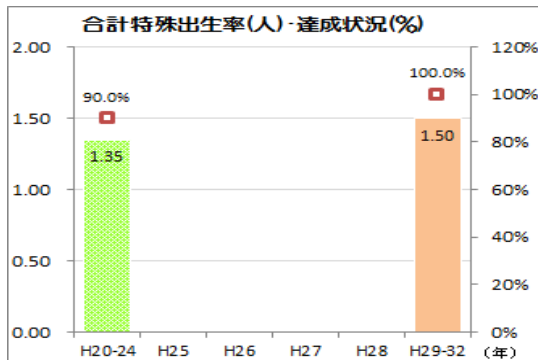
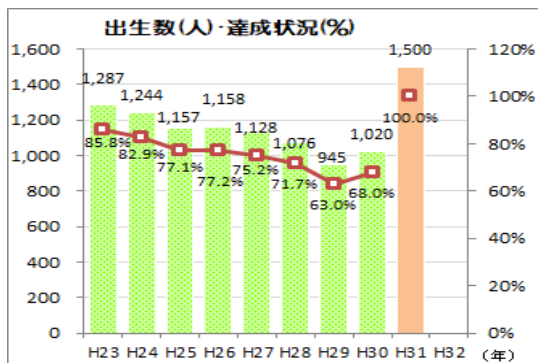
若い世代が結婚し子どもを育てることができるよう、結婚や妊娠を支える環境づくりを進めるため、若者や子育て世代の経済的自立に向けた支援や子育て環境の充実を図ります。

妊娠・出産・子育てに係る負担を軽減するため、不妊治療や母子保健事業の充実を図ります。

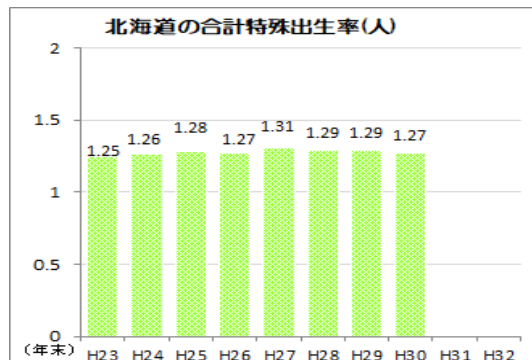
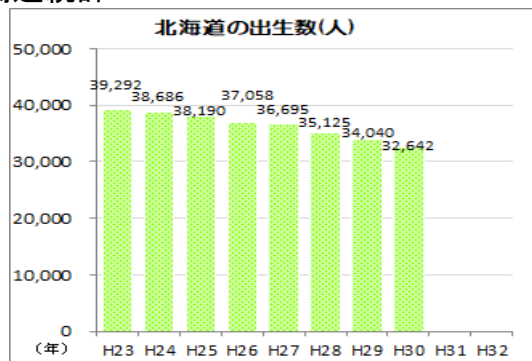
育児休業の取得促進、仕事と生活の調和の実現を目指します。

次代を担う子どもたちが心身ともに健全で健やかな成長ができるよう教育環境の整備等を図ります。

#### 数値目標



#### 関連統計



#### 施策の体系

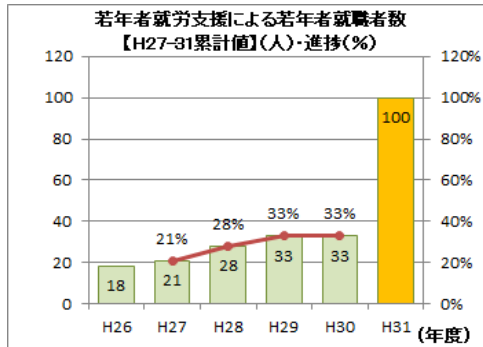
**基本目標3**  
子どもを育てたいという希望をかなえる

- ① 結婚や妊娠を支える環境づくり
- ② 安心して子どもを育てられる環境づくり
- ③ 子どもの成長を支える環境づくり
- ④ 配慮を要する子どもと家庭を支える環境づくり

【基本目標 3】 子どもを生み育てたいという希望をかなえる

①結婚や妊娠を支える環境づくり

ア 結婚支援や社会気運の醸成



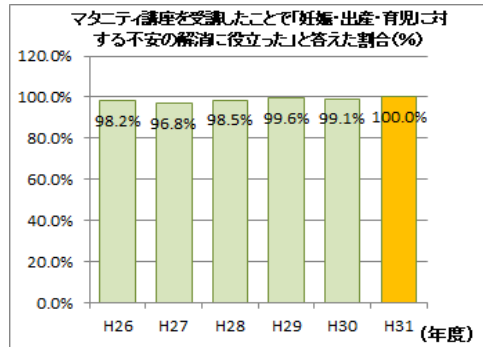
増要因

—

減要因

若年者雇用に関する情勢の好転に伴い、新卒未就職者が大幅に減少したことや、他の支援機関との連携強化により若年者就労支援の取組が進められていることからH29で事業終了。なお、若者就労に係る支援機関である若者サポートステーションでは、23名就職（KPI実績外）となっている。

イ 妊娠・出産に向けた支援



増要因

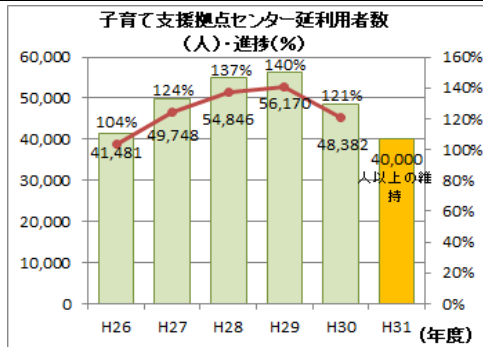
—

減要因

—

②安心して子どもを生み育てられる環境づくり

ア 安全・安心な母子保健医療の充実



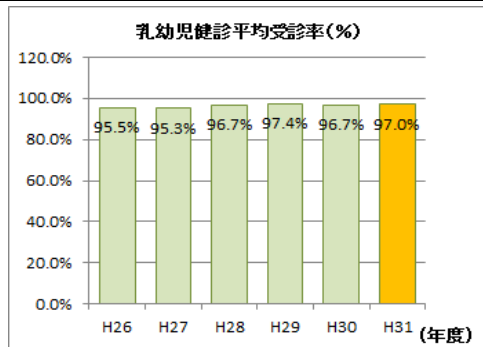
増要因

—

減要因

対象児童数の減少

ア 安全・安心な母子保健医療の充実



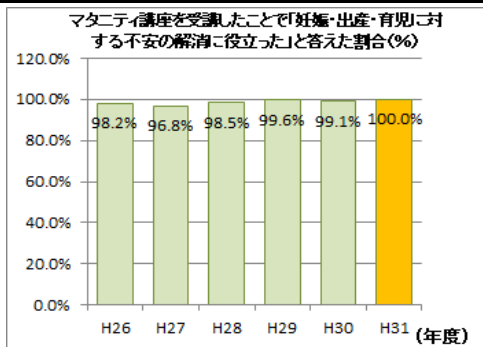
増要因

—

減要因

次年度に繰り越して受診する者が多かったためと思われる。

ア 安全・安心な母子保健医療の充実



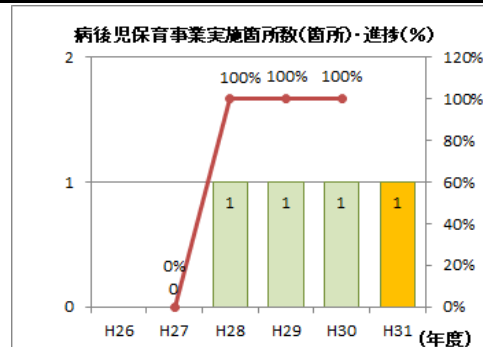
増要因

—

減要因

—

イ 教育・保育サービスの充実



増要因

—

減要因

—

**【基本目標3】子どもを生み育てたいという希望をかなえる**

イ 教育・保育サービスの充実															
<p>0歳児保育の拡充(待機児童数)(人)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>人数</th></tr> <tr><td>H26</td><td>55</td></tr> <tr><td>H27</td><td>45</td></tr> <tr><td>H28</td><td>18</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0</td></tr> <tr><td>H31</td><td>0</td></tr> </table>		年度	人数	H26	55	H27	45	H28	18	H29	0	H30	0	H31	0
年度	人数														
H26	55														
H27	45														
H28	18														
H29	0														
H30	0														
H31	0														
増要因	—														
減要因	—														

イ 教育・保育サービスの充実																						
<p>障がい児保育実施施設数(園)・進捗(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>施設数</th><th>進捗率</th></tr> <tr><td>H26</td><td>9</td><td>64%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>10</td><td>71%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>11</td><td>79%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>12</td><td>86%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>12</td><td>86%</td></tr> <tr><td>H31</td><td>14</td><td>—</td></tr> </table>		年度	施設数	進捗率	H26	9	64%	H27	10	71%	H28	11	79%	H29	12	86%	H30	12	86%	H31	14	—
年度	施設数	進捗率																				
H26	9	64%																				
H27	10	71%																				
H28	11	79%																				
H29	12	86%																				
H30	12	86%																				
H31	14	—																				
増要因	—																					
減要因	—																					

ウ 地域における子育て支援の充実																						
<p>ファミリーサポートセンター会員数(人)・進捗(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>人数</th><th>進捗率</th></tr> <tr><td>H26</td><td>981</td><td>91%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,042</td><td>97%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,138</td><td>105%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,183</td><td>110%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,226</td><td>114%</td></tr> <tr><td>H31</td><td>1,079</td><td>対26年表10%増</td></tr> </table>		年度	人数	進捗率	H26	981	91%	H27	1,042	97%	H28	1,138	105%	H29	1,183	110%	H30	1,226	114%	H31	1,079	対26年表10%増
年度	人数	進捗率																				
H26	981	91%																				
H27	1,042	97%																				
H28	1,138	105%																				
H29	1,183	110%																				
H30	1,226	114%																				
H31	1,079	対26年表10%増																				
増要因	子育ての負担軽減策の継続的な実施による。																					
減要因	—																					

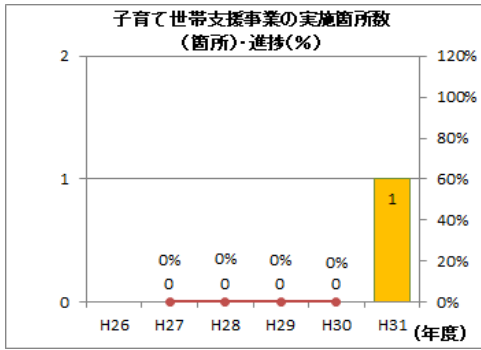
ウ 地域における子育て支援の充実																						
<p>子育て世帯支援事業の実施箇所数(箇所)・進捗(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>箇所数</th><th>進捗率</th></tr> <tr><td>H26</td><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0</td><td>0%</td></tr> <tr><td>H31</td><td>1</td><td>100%</td></tr> </table>		年度	箇所数	進捗率	H26	0	0%	H27	0	0%	H28	0	0%	H29	0	0%	H30	0	0%	H31	1	100%
年度	箇所数	進捗率																				
H26	0	0%																				
H27	0	0%																				
H28	0	0%																				
H29	0	0%																				
H30	0	0%																				
H31	1	100%																				
増要因	—																					
減要因	—																					

ウ 地域における子育て支援の充実															
<p>子育て世帯応援リフレッシュ事業によりリフレッシュが図られた」と答えた方の割合(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合</th></tr> <tr><td>H26</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>99.0%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>99.0%</td></tr> <tr><td>H31</td><td>70%以上</td></tr> </table>		年度	割合	H26	100.0%	H27	100.0%	H28	100.0%	H29	99.0%	H30	99.0%	H31	70%以上
年度	割合														
H26	100.0%														
H27	100.0%														
H28	100.0%														
H29	99.0%														
H30	99.0%														
H31	70%以上														
増要因	子育ての負担軽減策により目標達成。														
減要因	—														

エ 働きながら子育てしやすい環境の充実																						
<p>ファミリーサポートセンター会員数(人)・進捗(%)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>人数</th><th>進捗率</th></tr> <tr><td>H26</td><td>981</td><td>91%</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,042</td><td>97%</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,138</td><td>105%</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,183</td><td>110%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,226</td><td>114%</td></tr> <tr><td>H31</td><td>1,079</td><td>対26年表10%増</td></tr> </table>		年度	人数	進捗率	H26	981	91%	H27	1,042	97%	H28	1,138	105%	H29	1,183	110%	H30	1,226	114%	H31	1,079	対26年表10%増
年度	人数	進捗率																				
H26	981	91%																				
H27	1,042	97%																				
H28	1,138	105%																				
H29	1,183	110%																				
H30	1,226	114%																				
H31	1,079	対26年表10%増																				
増要因	子育ての負担軽減策の継続的な実施による。																					
減要因	—																					

【基本目標3】子どもを生み育てたいという希望をかなえる

エ 働きながら子育てしやすい環境の充実



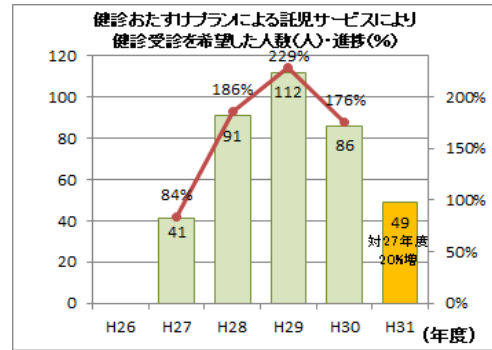
増要因

—

減要因

—

エ 働きながら子育てしやすい環境の充実



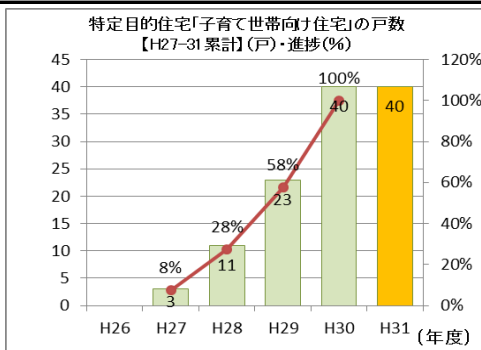
増要因

—

減要因

健診開催回数の減。

オ 子どもと子育て世帯が暮らしやすい生活環境の充実



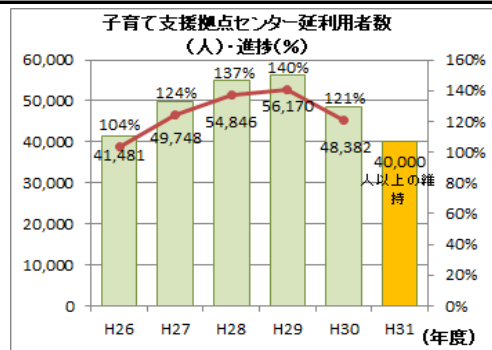
増要因

定期公募を行ったため。

減要因

—

オ 子どもと子育て世帯が暮らしやすい生活環境の充実



増要因

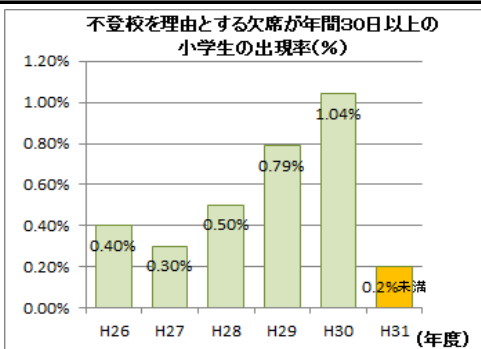
—

減要因

対象児童数の減少

③子どもの成長を支える環境づくり

ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実



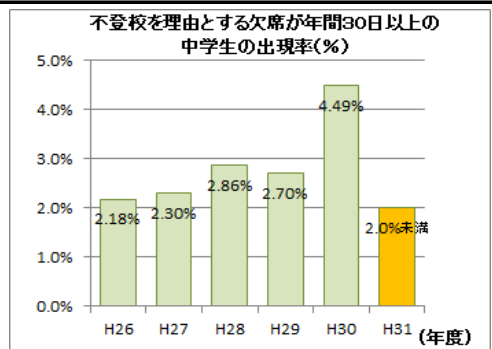
増要因

不登校の要因の複雑化・深刻化に伴い、不登校生徒が増加傾向にある。

減要因

—

ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実



増要因

不登校の要因の複雑化・深刻化に伴い、不登校生徒が増加傾向にある。

減要因

—

【基本目標3】子どもを生み育てたいという希望をかなえる

**ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実**

年度	割合(%)
H26	96.3%
H27	96.4%
H28	97.5%
H29	96.5%
H30	90.9%
H31	100.0%

いじめ問題対策により「いじめはどんな理由があってもいけない、どちらかと言えはけない」と回答する小学生(6年生)の割合(%)

増要因	—
減要因	いじめ防止に向けた意識啓発や周知徹底に努めているものの、理解させるまでに至っていないため。

**ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実**

年度	割合(%)
H26	90.8%
H27	90.8%
H28	92.2%
H29	92.3%
H30	81.0%
H31	100.0%

いじめ問題対策により「いじめはどんな理由があってもいけない、どちらかと言えはけない」と回答する中学生(3年生)の割合(%)

増要因	—
減要因	いじめ防止に向けた意識啓発や周知徹底に努めているものの、理解させるまでに至っていないため。

**ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実**

年度	割合(%)
H26	0.0%
H27	11.2%
H28	0.0%
H29	0.0%
H30	10.7%
H31	10.0%

子どもの不読書(1か月に1冊も本を読まない)割合【小学4~6年生】(%)

増要因	—
減要因	各学校での読書支援活動等の効果が表れているものと考えられる。

**ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実**

年度	割合(%)
H26	0.0%
H27	22.6%
H28	0.0%
H29	0.0%
H30	26.8%
H31	20.0%

子どもの不読書(1か月に1冊も本を読まない)割合【中学生】(%)

増要因	課外活動により読書する時間を確保できない等の要因が考えられる。
減要因	—

**ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実**

年度	割合(%)
H26	0.0%
H27	58.1%
H28	0.0%
H29	0.0%
H30	56.7%
H31	52.0%

子どもの不読書(1か月に1冊も本を読まない)割合【高校生】(%)

増要因	—
減要因	学校図書館司書の配置、興味や関心を引く書籍の増加等が考えられる。

**ア 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の充実**

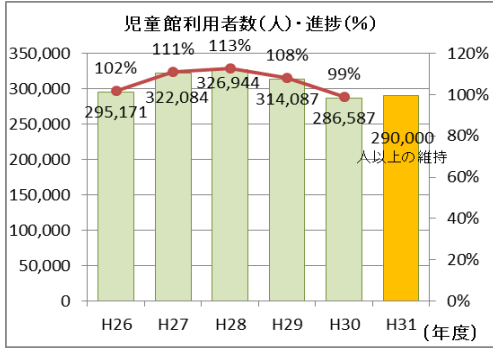
年度	人数	割合
H27	0	0%
H28	0	0%
H29	0	0%
H30	16	80%
H31	23	115%
H32	20	100%

阿寒高校入学者数(人)

増要因	体験入学会、高校説明会、中学校訪問の強化。
減要因	—

【基本目標3】子どもを生み育てたいという希望をかなえる

イ 児童の健全育成



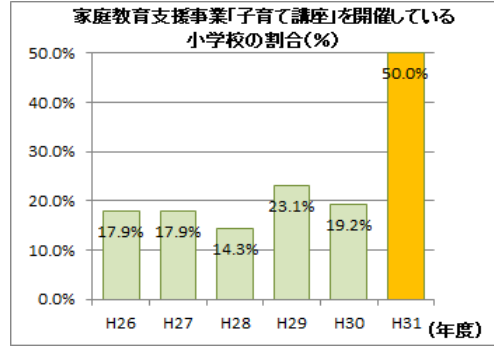
増要因

—

減要因

放課後児童クラブ利用者数の減。

ウ 家庭や地域の教育力向上



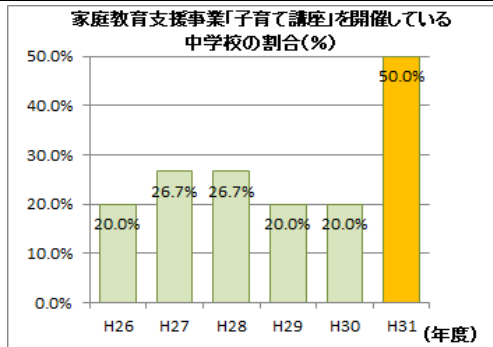
増要因

—

減要因

当講座以外にも様々な取り組みや講座等を実施したため。

ウ 家庭や地域の教育力向上



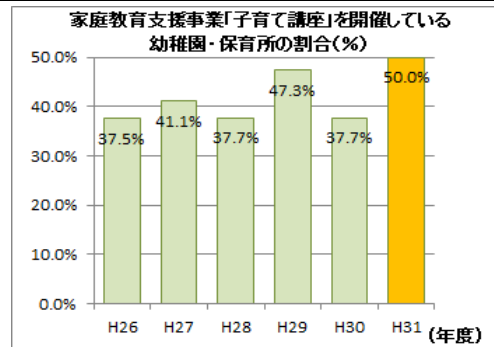
増要因

—

減要因

(KPIと比較して) 当講座以外にも様々な取り組みや講座等を実施したため。

ウ 家庭や地域の教育力向上



増要因

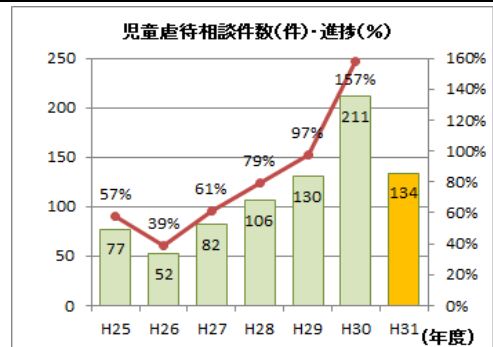
—

減要因

当講座以外にも様々な取り組みや講座等を実施したため。

④配慮を要する子どもと家庭を支える環境づくり

ア 児童虐待防止対策の充実



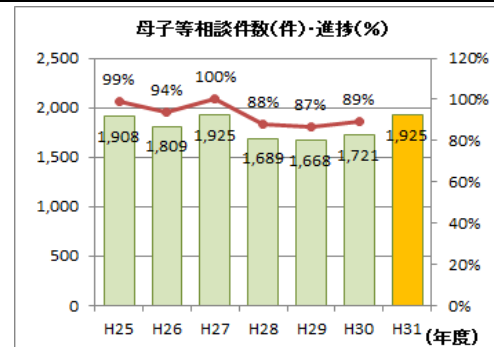
増要因

児童虐待への意識の高まり及び面談DVにおける通告件数の増加等による。

減要因

—

イ ひとり親家庭の自立支援対策の充実



増要因

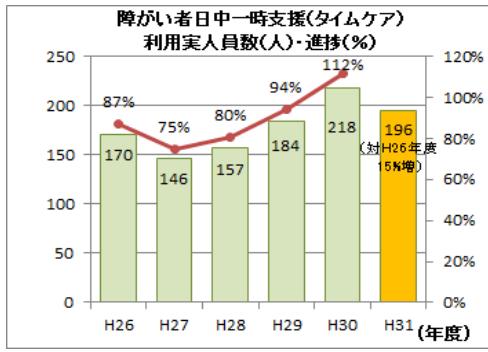
毎年100件前後の増減がある。今年度は母子相談全般的に増加した。

減要因

—

**【基本目標3】子どもを生み育てたいという希望をかなえる**

**ウ 障がい児支援対策の充実**



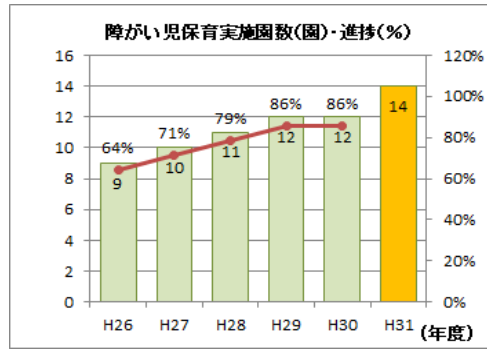
**増要因**

平成29年度に制度の見直しによる利用対象者の拡充、及びサービス提供事業所の増により利用者の増加に繋がった。

**減要因**

—

**ウ 障がい児支援対策の充実**



**増要因**

—

**減要因**

—